

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)

【公開番号】特開 2020-85938 (P2020-85938A)

【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報 2020-022

【出願番号】特願 2018-214927 (P2018-214927)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 V 19/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

H 0 1 L 33/00 (2010.01)

F 2 1 Y 105/10 (2016.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 3 6 B

F 2 1 S 2/00 4 7 0

F 2 1 V 19/00 1 5 0

F 2 1 V 19/00 1 7 0

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 F 1/1335

H 0 1 L 33/00 L

G 0 9 F 9/00 3 3 6 A

F 2 1 Y 105:10

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

遮光層 L S は、透光性基板 S U T とアノード電極 A D との間に設けられ、かつ、透光性基板 S U T とカソード電極 C D との間に設けられる。遮光層 L S の第 1 部分遮光層 L S a、第 2 部分遮光層 L S b 及び第 3 部分遮光層 L S c は、同層に、透光性基板 S U T の一方の面 S U T a の上に設けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 2】

(第 6 実施形態の第 7 変形例)

図 2 5 は、第 6 実施形態の第 7 変形例に係る照明装置の断面図である。図 2 5 に示すように、第 7 変形例において、平坦化層 L L が設けられず、カソード電極 C D 及びカソード

接続層 C D C N は、光取出し層 L P L の上に設けられている。具体的には、カソード接続層 C D C N は、光取出し層 L P L の側部 L P L a、傾斜部 L P L b、延出部 L P L c、対向部 L P L d 及び外縁部 L P L e に重なって設けられる。カソード電極 C D 及びカソード接続層 C D C N は、光取出し層 L P L を介してアノード電極 A D と絶縁される。第 7 変形例においても、頂部 L P L f は設けられず、カソード電極 C D は、複数の発光素子 L E D のカソード端子 E L E D 2 に電氣的に接続される。